

建設通信新聞

『いいね！建設産業
本当の魅力』が刊行

足立議員らの研究会

足立敏之参院議員を中心とする建設未来研究会は、『いいね！建設産業本当の魅力』を2月28日に刊行した。著者

の足立議員は「希望が持て、やりがいのある産業である建設業の魅力プロジェクトや人に焦点を当てて発信する」と刊行の意図を説明。「図書館や学校などにも置いてもらって、学生やその両親、先生など進路を決める人に手に取ってもらいたい」と話す。

足立議員を中心とした国土交通省OBらによる著作は通算で4冊目となる。2017年の九州北部豪雨などを契機

として18年3月に『激甚化する水害』を発売以降、『荒廃する日本―これでいいのかジヤパン・インフラ』（19年11月）、『水害列島 日本の挑戦』（20年11月）と防災・減災、国土強靱化をテーマに取り上げてきた。

最新作となる『いいね！建設産業本当の魅力』は地域の安心安全を守るインフラ整備を担う建設産業のやりがいと全貌をまとめた。黒部ダム、霞が関ビルディングなどの歴史的事業や国立競技場、東京スカイツリーなど最新の大規模事業、東日本大震災、熊本地震からの復興といった主要なプロジェクトを網羅しつつ、働く人に焦点を当てて建設業の最先端を紹介する。



担い手の確保・育成が叫ばれる中で、1人でも多くの人が建設産業を志すきっかけとなるよう建設産業が持つ奥深さ、ワクワク感を伝えられる1冊となっている。